



# 高性能AE減水剤 フローリック SF200S

近年、碎石・砕砂および海砂の使用が一般化し、単位水量の多いコンクリートが打設され、コンクリート構造物の耐久性の低下が問題になってきています。そのため、JASS 5 が改定され、単位水量が  $185\text{kg}/\text{m}^3$  以下に規制されるようになり減水率のより優れた混和剤が要望されています。また、高強度コンクリートの需要が高まり、更に高性能の混和剤が要望されています。

フローリック SF200S は、これらのニーズに沿って開発された JIS A 6204（コンクリート用化学混和剤）に適合する高性能 AE 減水剤です。

## 物 性

種類	フローリック SF200S
区分	標準形
主成分	アミノスルホン酸系化合物
外観	黒褐色液体
塩化物イオン ( $\text{Cl}^-$ ) 量 (%)	0.03%*
アルカリ量 (%)	1.42%*
密度 ( $\text{g}/\text{cm}^3$ )	1.08 ~ 1.12

(※測定値例)

## 特長および用途

- 従来の AE 減水剤より単位水量を大幅に減少できます。
- 従来の AE 減水剤より高い圧縮強度が得られます。
- スランプロスを大幅に低減します。
- ワークビリティが著しく改善されます。
- ブリーディングなど材料分離が減少されます。
- 水密性が向上し、耐久性が改善されます。
- 無塩化タイプです。

## 標準的な使用量

標準使用量はセメント重量に対して 1.5% ですが、適正な使用量は、使用材料、練混ぜ条件およびコンクリート温度などによって変動しますので、1.0 ~ 2.5% の範囲内で、試し練りによりご確認ください。

## 空気量の調整方法

連行空気量が少ない場合には、フローリック専用の AE 助剤をご使用ください。AE 助剤の使用量は、当社担当者にご相談ください。



## JIS A 6204 (コンクリート用化学混和剤) による試験結果

項目		高性能 AE 減水剤 標準形 I 種 (規格値)	フローリック SF200S
減水率 (%)		18 以上	19
ブリーディング量の比 (%)		60 以下	26
凝結時間の差 (分)	始発	- 60 ~ + 90	+ 60
	終結	- 60 ~ + 90	+ 50
圧縮強度比 (%)	材齢 7 日	125 以上	135
	材齢 28 日	115 以上	121
長さ変化比 (%)		110 以下	86
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		60 以上	90
経時変化量 (60 分後)	スランプ (cm)	6.0 以下	3.5
	空気量 (%)	± 1.5 以内	0.7

### 使用上の注意

- **異種混和剤の混合**  
銘柄や主成分の異なる高性能 AE 減水剤の混合は、沈殿やゲル化を生じる恐れがあり、また所定の性能が得られない場合がありますので、高性能 AE 減水剤の混合および併用は避けてください。
- **凝集剤の影響**  
濁水処理や泥分処理の結果として回収水や細骨材に残留する凝集剤は、その濃度によっては、コンクリートの初期流動性を低下するような悪影響を与えることがあります。特に有機系凝集剤にはご注意ください。
- **練混ぜ水の影響**  
練混ぜ水に回収水を用いる場合、スラッジ固形分率のばらつきが、空気量の変動要因となります。

### 取扱い上の注意

- フローリック製品は、通常の使用条件では無害ですが、皮膚に付着した場合には、清水で洗浄してください。
- 飲み込んだ場合には、直ちに吐き出し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合には、清水で洗眼し、医師の診断を受けてください。
- 詳細は、当社の安全データシート (SDS) をご覧ください。

### 荷 姿

タンクローリ